



栃木県の象徴；日光・東照宮陽明門

北里大学同窓会栃木県支部の会員の皆様へ

栃木県支部ニュースの発行に当たって

支部長 滝 龍雄

北里大学同窓会は、平成 20 年 4 月現在、全国に 5 万人を超える会員がおり、栃木県においても約千人の会員が活躍しています。栃木県支部は平成 6 年（1994 年）に荒木支部長（元済生会宇都宮病院）のもと 18 名の有志が協力して発足し、14 年を経過しました。その間、数度、総会・講演会を開催しましたが、ここ 7～8 年は活動が停滞していました。去る 7 月に開催されました総会におきまして、折角努力して設立したこの支部会をこのまま立ち消えにしてしまうのも勿体ないということで、荒木前支部長に代わり、新たに私が支部長に選出されました。これから 2 年間、皆様にご協力頂き、何とか会員の皆様に栃木県支部の存在を認知して頂くと共に、未加入の栃木県在住の同窓の方々にも入会して頂ける様、公開の講演会開催等の広報活動を積極的に行っていく積りです。

11 月 15 日に開催された北里大学同窓会支部長懇談会では、色々と参考になる事がありました。

1；支部主催の企画行事への補助について

同窓会支部が主催して、会員以外の地域在住者も対象とする企画行事については年間合計 200 万円（4 件）、予算があります。昨年長野県支部が開催した「市民公開講座；よくわかるリウマチ関連疾患のお話」では地元の信濃毎日新聞社との共催で宣伝費を節約して、同窓会本部より 100 万円の援助がありました。会場費や宣伝も含めて、地

元のメディアとの共催は非常に有効とのこと。2；本部「会報」及び支部「会報」執筆者への謝礼
本部に連絡すると、本部「会報」では 3000 円の図書券、支部「会報」では 1000 円の図書券が出るそうです。大いに会報に投稿して下さい。3；「北里大学同窓会 特別奨励賞」受賞候補者推薦
「同窓会会員で、学術、文化、スポーツ、芸能等の活動で、北里大学並びに北里大学同窓会の名を広く社会に知らしめた人に、その功績を讃える上記の特別奨励賞を制定しています。本賞に該当する活動を行っている会員を支部長名で推薦できます。適当な方が居ましたら至急お知らせ下さい。推薦には

- ・特別奨励賞推薦書
 - ・活動状況（内容）等の分かる資料
- が必要になりますので、お早めに。

今期の運営委員をご紹介します。

各運営委員の自己紹介は後に掲載してあります。
滝 龍雄（支部長）、 福田容子、 新島健司、 鈴木一夫、 岸 善明、 田村久美子、 石川信一、 山口正利、 塚原訓子、 滝田まり子、 福田哲夫、 磯 恵美子、 芝田周平、 吉澤浩子、 和貝和子、 齋藤けさよ、 戸田麻子、 篠崎和実、 廣瀬英俊

今期の活動目標：

- ① 同窓会本部との共催により、広く県民に開放した多くの人達に興味を持ってもらえる、北里大学の特色を生かした公開講演会を開催したい。
- ② 会員相互の生涯教育を兼ねた勉強会的な県支部会講習会を開催したい。
- ③ 最低年 2 回は県支部会ニュースを発行し、大学情報、同窓会情報、会員情報等を発信して、会員相互の支部会活動に対する理解を深めたい。
- ④ これらの活動を開始して、未加入の栃木県支部関係者の会員増を図り、会員相互の親睦だけではなく、財政的な基盤も強くしたい。
- ⑤ 老・成・青の三世代が楽しめる会にしたい。

北里大学同窓会栃木県支部規約

平成20年10月26日改定

第一章 総則

(名称)

第1条 本会は北里大学同窓会栃木県支部(北里会)と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を栃木県宇都宮市竹林町911-1(済生会宇都宮病院 医療技術部 臨床検査科)に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の親睦を図るとともに、北里大学並びに地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会はその目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 会員相互の交流及び親睦。
- ② 会報・会員の名簿の発行。
- ③ 講習会の開催、会員の教養の向上に関する事業。
- ④ その他、必要と認められる事業。

第二章 会員

(会員)

第5条 本会は次の会員で組織する。

正会員 北里大学卒業生で栃木県に在住又は勤務するもの。
賛助会員 本会の主旨に賛同し、運営委員会で承認したもの。

第三章 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

支部長 1名
副支部長 2名
運営委員 10名以上
監事 2名以上

(役員を選出)

第7条 役員は正会員より選出する。

- 2 役員を選出は以下の通りとする。
 - ① 支部長、副支部長は運営委員会の指名に基づいて総会で選任する。
 - ② 運営委員・監事は正会員、運営委員会からの推薦に基づいて総会で選任する。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とし、再任は妨げない。

- 2 補欠または増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、その任期満了後でも、後任者が就任するまでは、その職務を行う。

(役員解任)

第9条 役員が次のいずれかに該当するときは、総会において3分の2以上の議決により役員を解任することができる。

- ① 心身の故障のため、職務の執行に耐えられないと認められるとき。
- ② 職務上の義務違反、その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

(支部長・副支部長・運営委員の職務)

第10条 支部長は本会を代表し、会務を統括する。

2 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるとき、支部長が予め指名した順序により、その職務を代行する。

3 支部長、副支部長、運営委員は運営委員会を組織して本会の業務を議決するとともに、会務の運営及び事業の遂行にあたる。

(監事の職務)

第11条 監事は本会の業務及び財産に関し、次の職務を行う。

- ① 財産の状況を監査すること。
- ② 運営委員の業務遂行の状況を監査すること。
- ③ 財産の状況又は業務の遂行について不正の事実を発見したときは、これを総会または役員会に報告すること。

第四章 会議

(会議の種類)

第12条 会議は、総会及び運営委員会とする。

(総会の種類および招集)

第13条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

第14条 定期総会は、隔年7月に招集する。

2 臨時総会は、運営委員会が必要と認めるとき、又は正会員の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して総会を請求されたときに招集する。

3 総会は支部長が招集する。前項の場合は、支部長は請求の日から1ヶ月以内に総会を招集しなければならない。

(総会の権限)

第15条 総会は、この規約で定めたもののほか、次の各号について議決する。

- ① 事業計画及び収支決算の決定。
 - ② 事業報告及び収支決算の承認。
 - ③ その他本会の運営に関する重要な事項。
- 2 総会の議事は、別に定める場合を除いて、出席総会構成員過半数の同意を持って決し、可否同数の時は議長が決するところによる。
 - 3 総会の議長は、出席総会構成員のうちから選任する。

(運営委員会の構成、役割および招集)

第16条 運営委員会は支部長、副支部長及び運営委員で構成する。

2 運営委員会は随時支部長が招集する。運営委員会の構成現在数の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して運営委員会の招集を請求されたときは、その請求のあった日から2週間以内に運営委員会を招集しなければならない。

- 3 運営委員会の議長は支部長とする。
- 4 運営委員会は、構成員現在数の3分の1以上のものが出席しなければその議事を開き議決する事ができない。
- 5 運営委員会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決する。可否同数のときは議長が決するところとする。
- 6 本会の事務局を運営委員会内に設置し、会務を始め、本会の円滑な運営を図る。

(運営委員会の権限)

第17条 運営委員は、この規約で定めるもののほか、次の各号について議決する。

- ① 総会の議決した事項の執行に関すること。
- ② 総会に付議すべき事項に関すること。
- ③ その他総会の議決を必要としない業務の執行に関すること。

第五章 会 計

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は6月1日に始まり5月31日に終る。(会費)

第19条 会員は、会費を納めるものとする。その金額および納入方法については別に定める。

第六章 改 正

(規約の改正)

第20条 本規約の改正は運営委員会の過半数の賛成を得てこれを発議し、総会の出席構成員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

第七章 付 則

(規約の施行)

本規約は平成20年10月26日より施行する。

細 則

(会費)

第1条 規約第19条による会費は、1正会員につき2年3,000円、4年前納5000円とする。

2 規約第19条による賛助会員の会費は、1賛助会員につき年額1,500円とする。

3 正会員同士が結婚している場合の年会費は、第1条に準ずる。

(会費の納入期)

第2条 会費の納入期は、次の通りとする。

- ① 正会員および賛助会員の新入会者は、入会手続きと同時に会費を納入するものとする。
- ② 正会員は、年度開始前に、会費を納入するものとする。
- ③ 賛助会員は、年度開始前に、会費を納入するものとする。

(付則)

第3条 この細則の変更は、総会の議決による。

第4条 この細則の施行は、平成20年10月26日とする。

北里大学同窓会栃木県支部入金口座

取引銀行 栃木銀行 貯金種別 普通貯金
口座 店番号 001 口座番号 4650951
名 義 北里大学同窓会栃木県支部(北里会)事務局
会計 塚原 訓子(つかはらのりこ)

支部事務局

〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町911-1
済生会宇都宮病院 医療技術部 臨床検査科
北里大学同窓会栃木県支部(北里会)事務局
TEL028-626-5500 内線3207、fax028-626-5646

栃木県支部入会をお願い

先日(10月26日)開催されました臨時総会において、今後の活動を行っていく上で、支部会員も含め、多くの同窓の方々の希望や意見、アイデアを募り、それら基に、多くの支部の方々が家族そろって参加しうる、有意義で楽しい講演会や講習会、体験学習などの企画を実行し、これらの**活動を通じて栃木県支部会の存在をアピールし、多くの未加入の方々にも入会して頂くということになりました。**

現在、北里大学同窓会で把握している栃木県に關係(居住、又は勤務している)する方々は約1千名で、以前に支部会活動に参加した、あるいは会員となり、臨時総会開催等の連絡を行っている方は約200名です。組織率は約20%です。

県内では全学同窓会よりは、医学部及び獣医学部同窓会が活発な活動を行っておりますが、大半の方々はこの二学部以外の卒業生です。より多くの方々の参加が支部会活動を通じて交流を深め、輪が広がればと願っております。

今後の活動に生かすために、アンケートを同封してあります。お答えを同じく同封してあります**葉書に記入して1月25日までにご投函下さい。**

運営委員の自己紹介です。これから、宜しくお願いします。(到着順です)

自己紹介： 滝 龍雄

今、栃木県人ですが、元々は道産子(北海道人)で、旭川の北にある和寒“わっさむ”でという町で生まれ育ちました(今は越冬キャベツで有名な町です)。冬には零下30℃以下にもなり、年間の最高気温と最低気温の差が70℃位ある町で、高校卒業まで過ごしました。

1967年、北里大学衛生学部衛生技術科に入学し、大学院時代を含めて6年間東京で暮らした後、1973年に創立2年目の自治医科大学微生物学教室に助手として赴任しました。自治医大に居る時に結婚し、本籍と名字が変わりましたが、昔の事を知っているヒトは今でも、旧姓の“齋藤”と呼びます。

1990年10月より北里大学医療衛生学部微生物学研究室で、学部では微生物学の講義と実習、大学院医療系研究科の環境微生物学特論を担当しています。自宅は自治医大駅より徒歩6~7分の所です。近くには北里大学OB・OGの方も多く住んでいるようです。毎日、自治医大から大学のある神奈川県相模原市に通うには時間が掛かるので、相模大野の近くに小さなアパートを借りて、健康の為に自炊をしています。

学生時代はワンダー・フォーゲル(ワングル)部に所属し、栃木の山にも来ました。現在も、体育会ワン

ゲル部の部長を引き受けていますが、部員が少なく、先行き心配です。皆様の身近に北里大学の学生がいましたら、是非、ワングル部入りを薦めてください。

支部長としては、今後の活動の基礎を作りたいと思っております。余所者ではありますが、与えられた任期の2年間で、皆様のご協力も得て、支部会発展にお役に立てればと思います。

宜しくお願いします。

運営委員：福田容子

昭和56年に大学を卒業し、同年北里大学卒業の主人と結婚したことから私も栃木県人になりました。現在大学生の長男、長女と高校生の次男の3人の子供がおります。

今私が1番取り組んでいる事は、2001年栃木県に立ち上げた18才までのこどもがかける専用電話NPO法人チャイルドラインとちぎの活動です。福岡県知事、佐藤宇都宮市長、小林弁護士、丸山県教育相談部長、伊達作新学院大学教授の方々にも顧問としてご支援いただき、栃木県として応援いただいております。今年11月からは月～土曜日16:00～21:00、フリーダイヤルでこどもからの電話を受けることができるようになりました。電話を受ける“受けて”さんや、運営委員さん募集しています。興味のある方は、是非ご一報を！また、“メイク・ア・ウィッシュ”（難病の子の夢をかなえる）の活動もしています。一緒にしませんか？

運営委員：齋藤けさよ（1998年3月卒 VV）

北里大学を卒業して10年が経ちました。今回、母校の先生でもある滝龍雄支部長のもと、新たな栃木県支部の運営委員としてお手伝いできる機会に恵まれ光栄です。

自己紹介を兼ねて、学生時代のことを書かせていただきます。

私の学生時代は部活の印象ばかりが強かったような気がします。空手道部に所属し、先輩方の御指導のもと練習に明け暮れました。週3回2時間の練習は、冬場でも汗をかくほどのハードなものでしたが、A型人間の私にとっては習慣化した練習は苦にもならず、せつせと体育館に通いました。成績はパットせず、吹けば飛んでしまう練習生の一人でしたが、社会人になってからの持続力はここで養われたと自負できます。現在も部活の成績同様、仕事はパットしませんが、無遅刻・無欠勤と体の丈夫さだけが取り柄です笑。挨拶は「押忍(オッス)」、ごちそうさまは「ごつつあんです」、間違いを訂正するときは「もとい(←漢字?)」という言葉が身に染みついていた。自己紹介では体育館端まで届く大きな声を出し、足はがに股、肩は碓型で先輩・同期・後輩とともに構内を闊歩していました。

今では「オッス」「ごつつあんです」なんて武道連系?!の言葉は身からすっかり抜け落ちてしまいましたが、学生時代同様に今でも一本筋の通った生き方に憧れていて、いつかは現役復帰したいものだと心の中で燻っております。

十和田キャンパスでは同性の後輩がいなかったため、あっさり引退してしまい、先輩方には大変お世話になったのに、後輩には何もしてあげられなかったことに悔いが残っております。社会では人と人とのつながりが大切だと感じておりますが、そんな中で、同じ学校の卒業生という共通の輪は、強みだと思います。この共通の輪を拓げるために、北里大学同窓会栃木県支部が新たに活発に会員の皆様や社会に働きかける活動に、微力ですがお手伝いをさせていただくことが、学生時代にお世話になった方々へのお返しにあたっておりますので、会員の皆様よろしくお願ひいたします。

運営委員：芝田周平

昭和56年3月に獣医畜産学部獣医学科を卒業しました(12V)。その後、栃木県に入りました。衛生部の保健所、食肉検査所、農務部の家畜保健衛生所、畜産試験場と渡り歩き現在は農業大学校に勤務しています。微力ですが運営委員として努力する積りで、皆様の御協力をお願いします。

運営委員：岸 善明

私は4V卒、職業は地方公務員です。昭和63年から獣医畜産学部の同窓会である「県紅緑会」活動を行っております。20年の活動の中で感じてきた事は、主に次のとおりです。

- ①10名以上のメンバーで努力しないと、地区同窓会をまとめる事は出来ない。
- ②活動をしていると、徐々にではあるが新しいメンバーが集まる。同窓会活動に拒絶反応を持つ者も多いので、賛同者を対象に活動すべきである。
- ③同窓会経由で大学から先生に来て頂き、大学の近況と専門分野について講演を頂いているが、これ、まさに同窓会活動ではないか。

10月に北里大同窓会を栃木の地で立ち上げる準備会に出席しました。その会に於いて、滝新会長と事務局を引き受ける済生会に勤務する複数のメンバーの意志、今後の運営方針『会の運営は賛同者を対象に行う。そのため、現在確認できる1000名以上の卒業者に、早急、意思確認をする。2年に1度は講演会を計画する。』が確認できましたので、新会長の下で働く決意をいたしました。同窓会発展のため、微力ですが働かせて頂きます。宜しくお願い致します。

運営委員：福田哲夫

医学部を1980年に卒業し、同年自治医大小児科に入局。その後、神奈川こども医療センター、千葉県の君津中央病院、栃木県に戻り、上都賀総合病院、獨協医科大学と転々し、その間主に新生児医療に携わりました。1991年秋に宇都宮市下砥上町に「福田こどもクリニック」を開業。2002年には病児保育室を併設し、働く母親の育児支援を行っています。

学生時代はスケート部に所属し2年間だけの活動でしたが、今なお他学部の友人との交流が続いています。今年(08年)6月には白金で20数年ぶりに同期会が開催され、時が過ぎ行くのも忘れ、「げんざい、かこ、みらあ〜い・・・」(若い人にはわからないかな??)いろいろな話に花が咲きました。やっぱ、いいもんです、北里は!!

「北里出身なら、支部会に参加しよう!!」あの地あの学び舎で青春時代を過ごした同士、話はすぐに弾むもんです。先ずは一步・・・!!

—私らしく生きること—

S56.3 薬学部薬学科卒業 磯 恵美子

この度、北里大学同窓会栃木県支部運営委員を務めさせていただくことになりました。

他の役員の方々と協力して支部発展のために微力ではありますが活動して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は昭和56年4月、栃木県職員として採用され、当時の栃木県宇都宮保健所に配属になりました。本県には県立病院が3ヶ所しかなく、念願の病院薬剤師になれたのは今から10年前です。そして、この4月からは栃木県立がんセンター薬剤部に配属になりました。県職員薬剤師は行政職や研究職や医療職・・・と多種多様な職場で勤務しています。それぞれがやりがいのある仕事です。私も多くの職場を経験しましたが、病院薬剤師として働ける「今」(この10年)が、一番私らしく生き生きと過ごせる毎日だと考えています。

県立がんセンターの“基本理念”は「学問に裏付けされた最高の技術を愛の心で」県民の皆様に提供することです。

職員のひとりとして、北里大学卒業生のひとりとして、そして何よりも医療人のひとりとして、基本理念に忠実に業務をこなせるようになりたいと思っております。「私にしか出来ない」仕事はありませんが、「私に出来る仕事を私らしく」プラス思考で！頑張ります。

運営委員：石川信一

北里大学衛生学部産業衛生学科に入学し、何とか無事卒業する事ができました。相模原で1年間、白金で

3年間の学生時代を過ごし、部活ではボディビル部に所属し筋骨隆々の体をとらいつつもかなわぬ夢で終わってしまいました。

卒業後は県に入り30数年経ち、現在は県北健康福祉センターに勤務しています。宇都宮市から大田原市へ車通勤は3度目ですが、年を重ねる度に遠く感じています。

私は4人家族ですがテレビゲーム、ワープロ、パソコンの類は家庭に無く時代に取り残された?感があります。

今回支部役員として選出されました。微力ではありますが支部発展の一翼を担うことができればと思っています。

宜しくお願いいたします。

平成20年度会計報告

先日(10月26日)開催されました臨時総会において、平成20年度の会計報告が承認されました。

収入	繰越金	1,392,207円
	総会祝い金(本部より)	50,000円
	総会会費	90,000円
	合計	1,532,207円
支出	総会・懇親会費	102,506円
	総会事務・通信費	36,788円
	臨時総会事務・通信費	35,940円
	臨時総会会場設備費	22,130円
	繰越金	1,334,843円
	合計	1,532,207円

栃木県支部会費の納入について

栃木県支部支部長 滝 龍雄

北里大学同窓会では、その運営費用を会員の会費で賄っています。栃木県支部の運営も、基本的には同窓会本部からの援助金と栃木県支部会員の皆様の会費により運営されます。

平成6年に栃木県支部を設立した際には、年間50万円が同窓会本部より5年間に亘り援助されました。現在、援助期間が過ぎたため、本部よりの援助はありませんが、幸か不幸か、上記の会計報告のように活動が停滞していた為、繰越金が130万円余あります。先ずは、その繰越金を活用して栃木県内に在住の同窓会員の県支部への積極的なアプローチを行い県支部への入会の意思を確認し、それから、県支部会費の納入をお願いする予定としています。

県支部の財政の健全化は多くの会員の方からの会費納入にかかっています。

どうぞ宜しくお願いします。